

花畑川を考える会(第五回) 議事概要

日時:令和6年2月27日(火)

午後6時～午後8時00分

場所:佐野地域学習センター

レクリエーションホール

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 前回の議事概要について(資料1)
- 4 議題(資料2)
 - (1)その1工事区間の進捗
 - (2)富山駅周辺の整備事例の紹介
 - (3)散策路整備(案)について
- 5 閉会

主な意見等

項目	意見(会員)	回答(事務局・会長)
前回(第四回)の 議事概要の説明	特に意見はありませんでした	
議題(1)～(3) 散策路整備(案) について	・ゴミ箱は設置されるのか。 ・お年寄りも健康のために歩く散策路になると思うので、歩きやすい散策路にしてほしい。	・10年ほど前から公園にゴミ箱を置かなくなったが、これによりむしろ公園が綺麗になったという実情もある。基本的には公園と同じ方針で考えている。 ・散策路幅を3mとること、桜の根上対策として十分な緑地幅を確保し、防根シートを張る計画となっている。舗装材も滑りにくいものを採用するので「歩きやすい」という点には力を入れさせてもらう。

転落防止柵について	・キッチンカーなどの車両はどこから出入りするのか。 ・散策路への出入口は何箇所できるのか ・川に落ちた人のために梯子以外で、救命救急の観点で何かつくのか。 ・背伸ばしベンチは気持ちが良いので置いてもらいたい。 ・横柵は足をかけて登りやすい。 ・水元公園のように、柵は無くても良いと思う。 ・細い縦柵であれば水面が見える。	・雪見橋からの出入りとなる。管理用の車両が通行できるよう、散策路幅も3m確保している。 ・基本は橋からの出入りとなる。出入口には、新たに横断歩道を設ける必要があるため、警察の許可が必要で、基準も厳しい。今後出入口を設けてほしいというお声があれば、警察と協議していく。 ・浮き輪にロープがついている状態のものを梯子付近の転落防止柵に括り付ける予定。 ・デザインの専門家と、よりよい配置ができるよう検討していく。(会長) ・縦柵で水面が見づらく、川を見ずに歩いている様子を多々視察してきた。富山では散策路側に倒れるように曲がった横柵を確認し、実際に足をかけづらかった。メーカーとも協議し、安全性と水面を近くに感じられる2つの機能を考慮した構造の横柵を提案した。細い縦柵も含め、会長と共に再検討し、構造を決定していきたい。
散策路内の交通ルールについて	・安全性を考え、散策路内を自転車や電動キックボードを乗れないようにすべき。	・「自転車は、散策路内で通行させない」が地域の総意と受け止めた。散策路への入口付近に駐輪スペースの整備を検討しているので、散策路内は歩いてもらいたいと考えている。

散策路内の交通ルールについて		・道路交通法において時速6キロ以下の電動キックボードは電動自転車椅子と同じ扱いとなるため、法で縛ることは難しい。
次の工事区間以降の計画について	・釣りができるなど、水面利用ができる施設を設けてほしい。 ・その1工事区間でトイレを設置できない場合は、花畑川全川のうちどこかで作れないか。 ・次の工事区間はいつ頃から工事が始まるのか。	・釣りができる場も含めて、水面に近づける階段などを検討している。 ・花畑川の中に下水管が通っていないという課題があるものの、どのような対応ができるか、次の工事区間にて検討する。合わせて、隣接する公園への誘導も検討する。 ・富士見歩道橋架け替えが令和9年度までかかる予定。令和10年度から次の施工区間に着手していきたい。
その他	・工事中の水循環はどうなっているのか。	・工事区間の水を抜いている関係で、両端の水門を閉じ、ポンプを使って東から西へ水を送っている。富士見歩道橋の架け替えまではこの方法で水を循環させる予定だが、より水を循環させるためにポンプを増設した。